

2009年度

科目名	ドイツ語 I (コミュニケーション)		
担当教員	村田 美紀		
配当	文 1・教育1・人間1	コード	24030
開期	通年	講時	火曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	「ドイツ」に親しみ、ドイツ語の基礎を習得する。		
目的と概要	初級文法の学習を通じて、ドイツ語を聴き、話し、読み、書くきっかけを作る授業と位置づけます。学習する文法事項は基本的なものに限られますが、そのなかでドイツ語の仕組みをできるだけ体系的に理解していくとともに、ドイツ語とドイツ語圏の文化に対する関心を高めることを目的とします。受講者一人一人が主体性を持ち、「自分でやるべきことは自分で行う」という大前提に立って臨むべき授業です。不明な点を放置せず、学習内容をそのつど整理しながら一つ一つ着実に積み重ねていくことで成果があげられます。		
成績評価法	前期末試験 + 学年末試験 50% 通年の受講状況(授業への参加姿勢、課題への取り組み、小テストの結果)50%		
テキスト	『心に刻まれるドイツ語』/久保哲司・Andrea Raab共著/朝日出版社		
参考書	独和辞典。初回授業時に紹介しますので、それを参考に各自で選んで下さい。		
履修に当たっての注意・助言	<p>正当な理由なき遅刻は授業への妨害行為と見なされます。</p> <p>前期末試験の受験資格は前期の受講状況に基づいて判断されます。学年末試験の受験資格は、前期末試験受験者を対象に、後期の受講状況に基づいて判断されます。</p> <p>欠席や他の個人的理由による習得不足は、人一倍の自主学習によって補填されなければなりません。</p> <p>授業で使用する教科書、独和辞典、配付資料等は、常に自分自身で責任を持って管理すべきものです。授業への教材の不携行は、学習意欲の欠如の現れと見なされます。</p> <p>質問・疑問等はそのつど自分自身の言葉で発信して下さい。</p> <p>私語や居眠り等による怠慢はもちろんのこと、一切の消極的・受動的態度は授業進行の妨げになります。「出席」と「教室内に居ること」とは決して同義ではないことを肝に銘じて下さい。</p> <p>授業の趣旨に反する行為は、いずれも「履修放棄」の意思表示として処理されます。</p>		
講義計画			
<p>前期</p> <p>第1回 前期授業への導入 アルファベット、発音、数字、あいさつ(1)</p> <p>第2回 アルファベット、発音、数字、あいさつ(2) 動詞の現在人称変化[規則変化]、語順[主文](1) →第1課</p> <p>第3回 動詞の現在人称変化[規則変化]、語順[主文](2) →第1課</p> <p>第4回 動詞の現在人称変化[規則変化]、語順[主文](3) →第1課 名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞(1) →第2課</p> <p>第5回 名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞(2) →第2課</p> <p>第6回 動詞の現在人称変化[不規則変化]、命令文(1) →第3課(4、5)</p> <p>第7回 動詞の現在人称変化[不規則変化]、命令文(2) →第3課(4、5)</p> <p>第8回 名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞(3) →第3課(1—3)</p> <p>第9回 人称代名詞、疑問代名詞 →第4課(1、2) 前置詞(1) →第4課(3—7)</p> <p>第10回 前置詞(2) →第4課(3—7)</p> <p>第11回 前置詞(3) →第4課(3—7)</p> <p>第12回 定冠詞類と不定冠詞類(1) →第5課</p> <p>第13回 定冠詞類と不定冠詞類(2) →第5課</p> <p>第14回 不定代名詞、非人称esの用法 →第9課(3)、第10課(4)</p> <p>第15回 前期の総括</p> <p>後期</p> <p>第1回 後期授業への導入 時刻の言い方 →第9課(5)</p> <p>第2回 分離動詞と非分離動詞(1) →第6課(1—3)</p> <p>第3回 分離動詞と非分離動詞(2) →第6課(1—3)</p> <p>第4回 分離動詞と非分離動詞(3) →第6課(1—3)</p> <p>第5回 接続詞、語順[副文] →第6課(4、5)</p> <p>第6回 話法の助動詞、未来の助動詞(1) →第7課(1、2、4)</p> <p>第7回 話法の助動詞、未来の助動詞(2) →第7課(1、2、4)</p> <p>第8回 形容詞の格変化 →第8課(1)</p> <p>第9回 動詞の3基本形、西暦年号の読み方 →第11課(1、2、4)</p> <p>第10回 動詞の過去人称変化(1) →第11課(3)</p> <p>第11回 動詞の過去人称変化(2) →第11課(3) 現在完了形(1) →第12課(1、2)</p> <p>第12回 現在完了形(2) →第12課(1、2)</p>			

第13回 zu不定詞 →第10課(3)  
第14回 再帰代名詞、再帰動詞 →第10課(1、2)  
第15回 一年の総括